

unifv

東日本ユニオンNIIGATA

<http://niigatachihon.yukigesho.com/>



2019年10月25日発行

第15号（通巻358号）

JR東日本労働組合新潟地方本部
発行者：星山 圭 編集者：教育・広報部

2019年 年末手当の取組みシリーズ②

またもや 過去最高の業績の予感?!



間もなく第2四半期決算が発表されます。10月に発表された月次情報では、2019年度上半期の鉄道営業収入は対前年104.3%（推計値）で推移しています。昨年度の対前年比の、99.7%からして見ても、今年度の上半期の業績は、またもや各収入において「過去最高」の文字が冠されることが予想できます。

年末手当の会社回答に納得していませんか？

毎年のように過去最高の業績を達成している会社に対して、みなさんは社員への還元が少ないと感じてはいませんか？

昨年の年末手当の団体交渉において会社は、「3.18ヶ月が上限であると認識していない。」「直近の業績が判断要素の大きな部分を占めるということは認識をしている。」「組合の要求額とかなりの開きはあるが、会社としては相当な水準の社員還元を行っているという認識である。」と述べています。

東日本ユニオンに結集して職場の声を届けよう！

今回の台風19号による影響で、鉄道にも大きな被害が発生しています。そのことによって、職場の雰囲気はネガティブになっていませんか？

私たちは、東日本大震災においても社員ひとり一人の職場からの奮闘によって復旧・復興して立ち直ることが出来ました。

それは、『過去最高』という業績が証明をしています。

東日本ユニオンに結集して、職場から年末手当の取組みを堂々と推し進めて行きましょう！



第2四半期決算が間もなく発表！